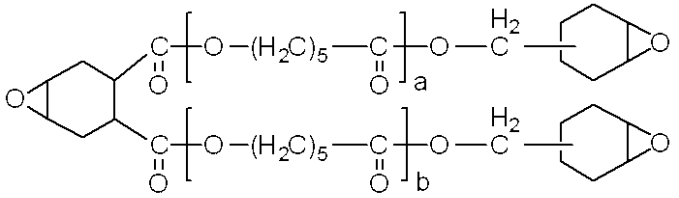
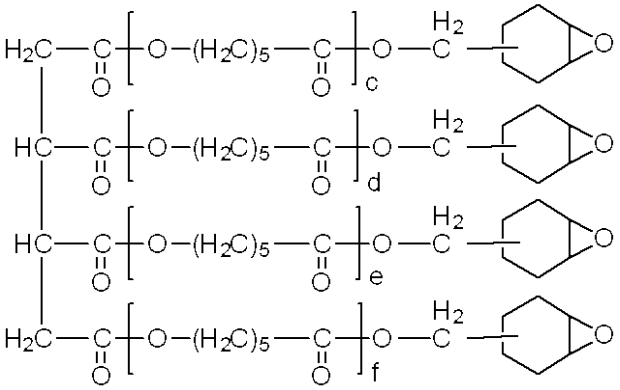
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【公開番号】特開2017-155091(P2017-155091A)
【公開日】平成29年9月7日(2017.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2017-034
【出願番号】特願2016-37946(P2016-37946)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　59/32　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　59/32

【手続補正書】
【提出日】平成30年9月14日(2018.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）成分：下記式（１）又は式（２）で表される脂環式エポキシ化合物、
（Ｂ）成分：熱酸発生剤、及び
（Ｃ）成分：溶剤
を含有する平坦化膜形成用樹脂組成物。
【化１】



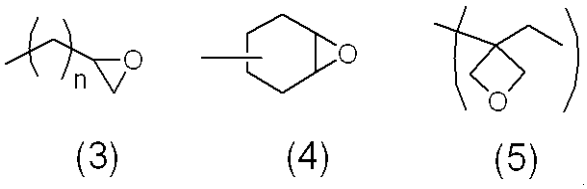
(1)



(2)

（式中、ａ、ｂ、ｃ、ｄ、ｅ及びｆはそれぞれ独立して０又は１を表す。）
【請求項２】
前記熱酸発生剤は有機オニウム塩化合物である請求項１に記載の平坦化膜形成用樹脂組成

物。
【請求項３】
さらに、（Ｄ）成分：エポキシ環を少なくとも２つ有する化合物（但し、前記式（１）又は式（２）で表される脂環式エポキシ化合物を除く。）及びオキセタン環を少なくとも１つ有する化合物からなる群から選ばれる少なくとも１種を含有する請求項１又は請求項２に記載の平坦化膜形成用樹脂組成物。
【請求項４】
前記エポキシ環を少なくとも２つ有する化合物は下記式（３）又は式（４）で表される基を２つ又は３つ有する化合物であり、前記オキセタン環を少なくとも１つ有する化合物は下記式（５）で表される基を１つ又は２つ有する化合物である請求項３に記載の平坦化膜形成用樹脂組成物。
【化２】



(3) (4) (5)

（式中、ｎは０乃至３の整数を表す。）
【請求項５】
さらに界面活性剤を含有する請求項１乃至請求項４のいずれか一項に記載の平坦化膜形成用樹脂組成物。
【請求項６】
平坦化膜形成用樹脂組成物から（Ｃ）成分を除いた固形分は１質量％乃至８０質量％であり、該固形分中の含有量に基づいて、（Ａ）成分の含有量は３０質量％乃至９９質量％であり、（Ｂ）成分の含有量は０．０１質量％乃至２０質量％である請求項１乃至請求項５のいずれか一項に記載の平坦化膜形成用樹脂組成物。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項に記載の平坦化膜形成用樹脂組成物を基板上に塗布後、加熱手段を用いて前記平坦化膜形成用樹脂組成物をベークすることによる平坦化膜の作製方法。